

## 200612 関東、中部各地の収束状況 > 引き続き大地震に警戒。

関東、中部各地の収束状況について 今週初め 6月8日(月)の段階で ゆれくるんのホームページに 関東、中部、東海地区で大地震発生の可能性、を載せて注意をお願いしましたが 6月12日(金)の段階で まだ発震に至っておりません。この点、予想がはずれ、大変申し訳なく、おわび致します。

しかし、五反田の数年に渡る長期データの収束や この同じタイミングで世田谷観測点に出た大きな独立した1本立ちが当初4本だったのが 今日(6月12日)現在、倍の8本も出現しており、まだ安心はできません。さらに東京湾の周辺で次のような地震の前兆現象と思われる、いくつかの宏観現象が見られます。(詳細は最後に載せます)

> 5月20~22日 東京湾の小規模の群発地震

> 5月20日~相模湾の変色(白潮)

> 6月4日ごろ 三浦半島の原因不明の異臭さわぎ

> 6月11日 東京湾館山沖で深海サメのメガマウスが網にかかった。

こうした宏観現象は 逆ラジオの電磁波ノイズでの地震予知を補完する前兆現象である場合が多く 大地震の前兆現象の可能性が考えられます。

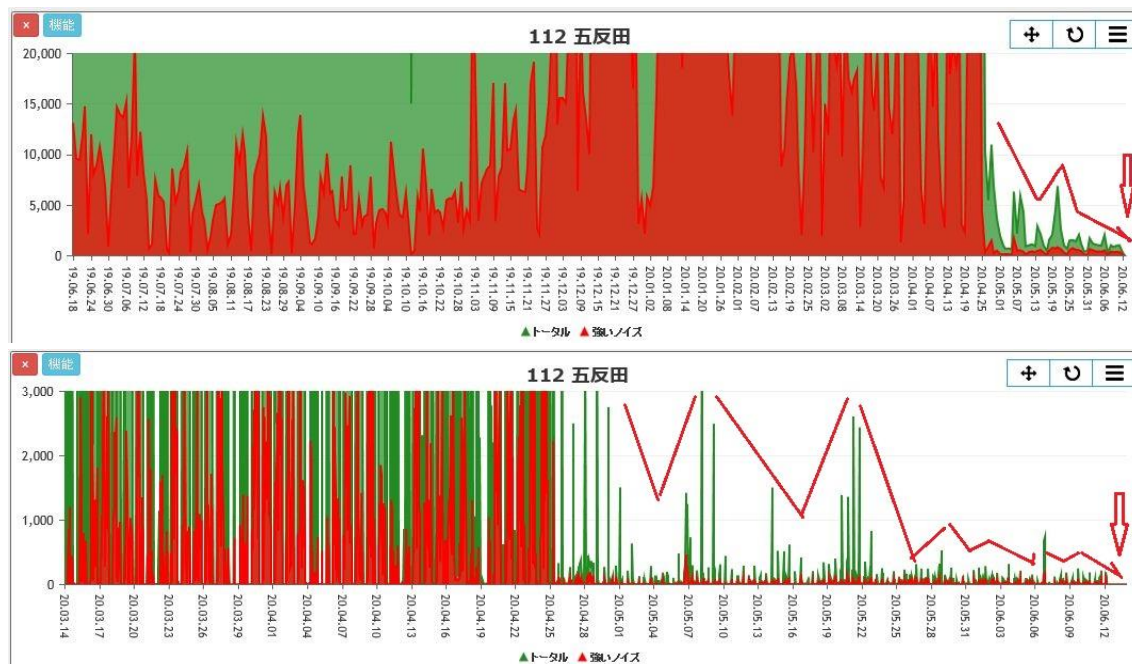
また中部、東海地方の観測点では、長野の安曇野、甲府、伊勢などに大きなデータの収束がみられ、とくに伊勢 E481 のデータは大きいものです。したがって中部一東海地方の大きな地震の可能性は高いと考えられます。通常、伊勢の観測点からは海側の震源を想像しますが、4月後半から6月まで長期に続いた長野中部一岐阜飛騨地方の群発地震との関連から 震源が内陸の場合もあると思われます。

(なお、広島、米子のデータも収束して、こちらは中規模地震を考えていましたが

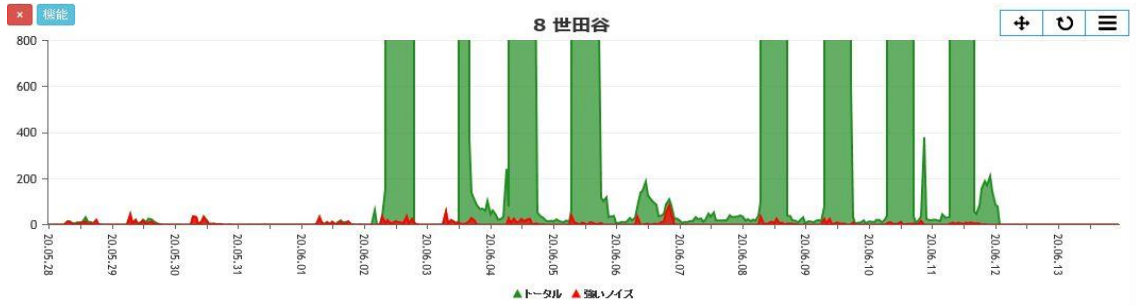
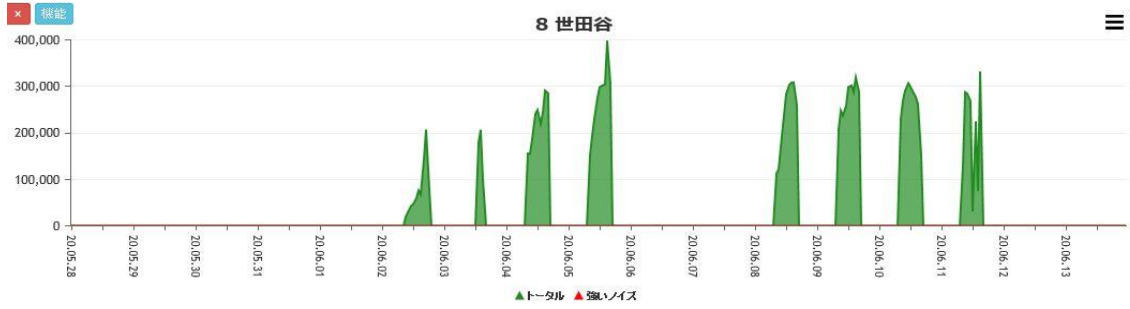
6月10日に少し離れた高知の土佐湾で M4.6 が発生しています。)

<各地のデータ>

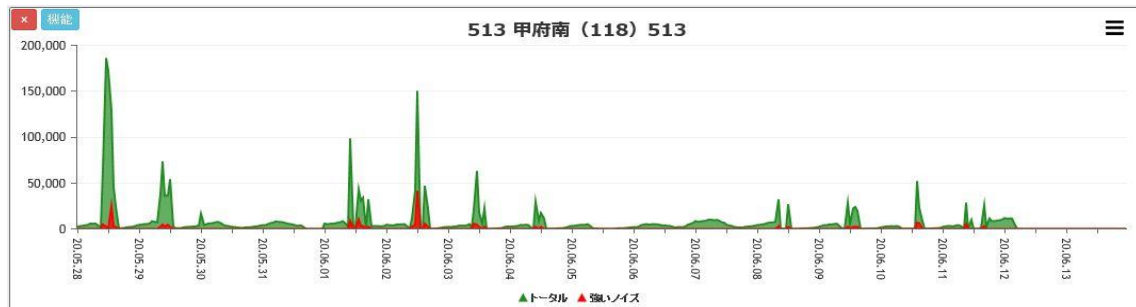
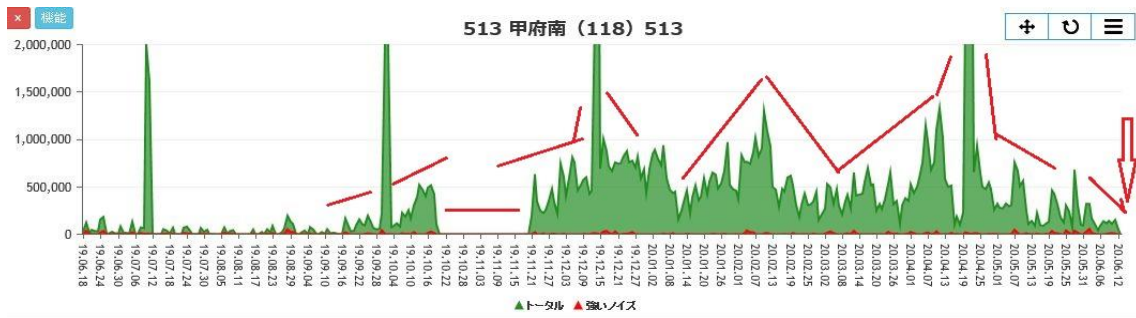
五反田の減衰、収束状況> 360日(日毎)と 90日のデータ



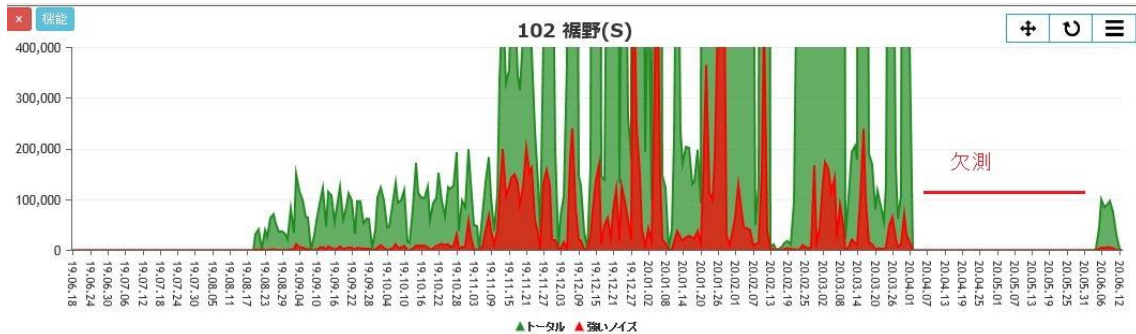
世田谷 15 日データ 多数の 1 本立ちが見られる。



甲府 360 日と 15 日データの収束状況。

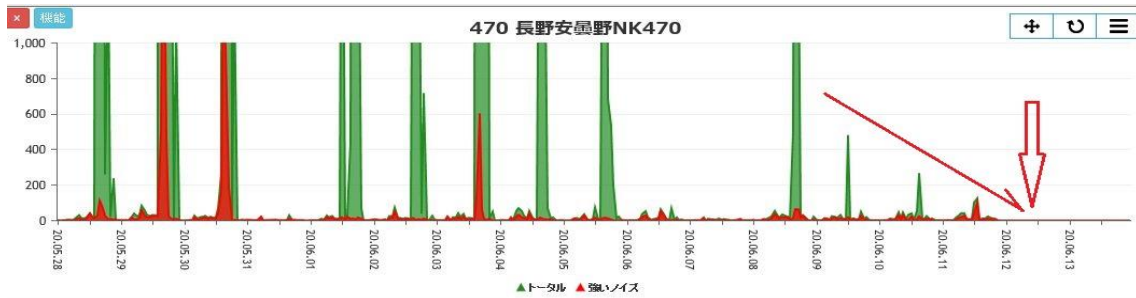
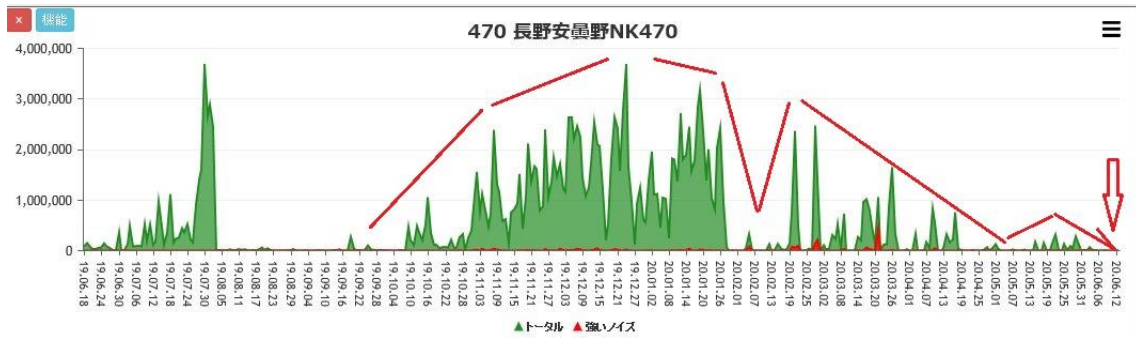


裾野 360 日と 15 日データ、15 日は収束してきている。

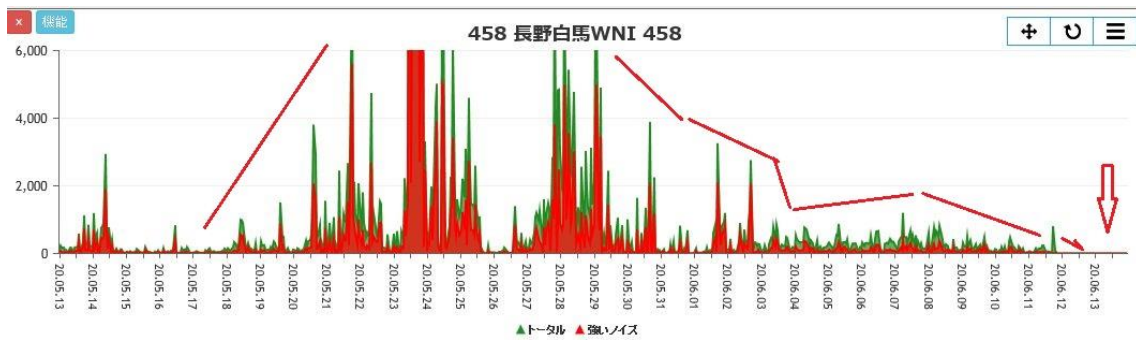




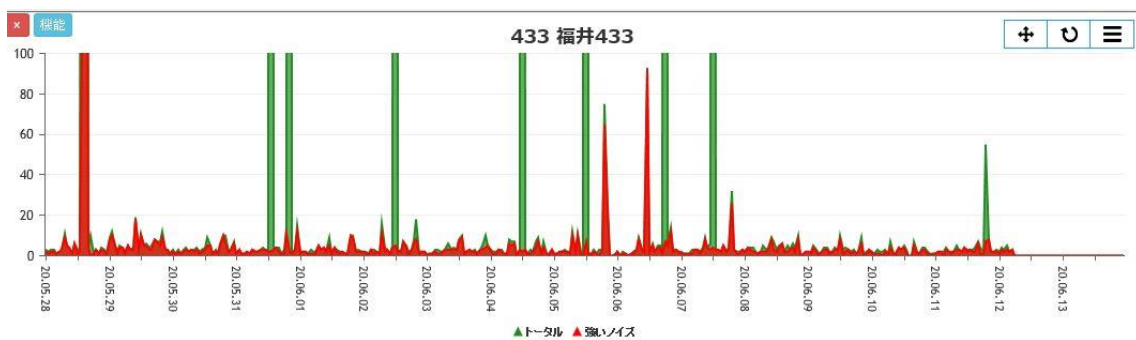
安曇野 360日と15日データ 共に収束がはっきりしている。



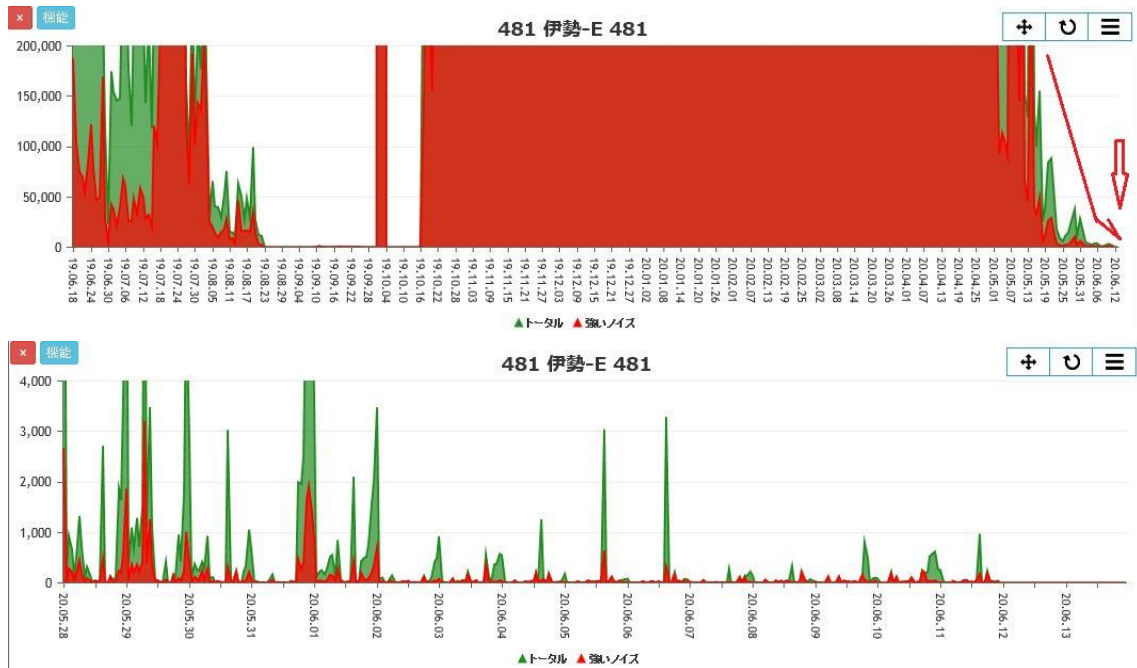
白馬 30日データ 収束してきている。



福井 15日データ



伊勢 E481 360日と15日データ 収束してきている。



東京湾周辺の宏観現象>位置関係



東京湾周辺の宏観現象について 参考

>いずれも大地震の前兆現象の可能性がります。

① > 5月20～22日 東京湾の小規模の群発地震

00521 東京湾を震源とする弱い地震 24時間で6回観測

(21日)午後2時頃、東京湾を震源とする地震がありました。最大震度は1でした。東京湾を震源とする地震はこの24時間で6回目(合計7回発生)です。

② > 5月20日～相模湾の変色(白潮)

5/21(木)19:12 配信 湘南海岸など相模湾の沿岸一帯で、海面が乳白色や南国の海のようなエメラルドグリーンに見える非常に珍しい「白潮(しろしお)」が発生している。植物プラ

ンクトンの大量発生がもたらした現象で、専門家によると 1995 年にも同湾一部で確認された事例があるが、これほど広範囲で観測されるのは初めてとみられる。

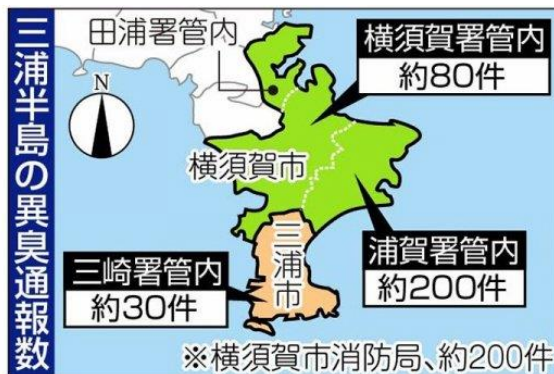
① ②の写真



③ > 6月4日ごろ 三浦半島の原因不明の異臭さわぎ

200605 原因不明の異臭が神奈川・三浦半島沿岸を“北上” 6/5(金) 12:19 配信

4日夜、神奈川県三浦半島の沿岸部で異臭を訴える通報が500件以上相次ぎました。異臭の原因は分かっていません。警察などによりますと、午後8時ごろ、神奈川県三浦市の沿岸部で「ゴムが焼けた臭いがする」「薬品の臭いがする」などと通報がありました。その後、約2時間で、こうした通報が三浦市から横須賀市を経て横浜市南部まで北上するように500件以上相次ぎました。東京湾を挟んだ千葉県の沿岸部には同様の通報はありませんでした。



④ > 6月11日 東京湾館山沖で深海サメのメガマウスが網にかかった。

6月11日千葉県館山市の東京湾の沖合で、巨大なサメ「メガマウス」が生きたまま定置網にかかっているのが見つかりました。専門家は「生きた姿をここまで鮮明に捉えた映像はとても珍しい」と話しています。メガマウスは、太平洋やインド洋などの深い海に生息する大きな口が特徴の巨大なサメで、詳しい生態は分かっておらず「幻のサメ」とも呼ばれています。

